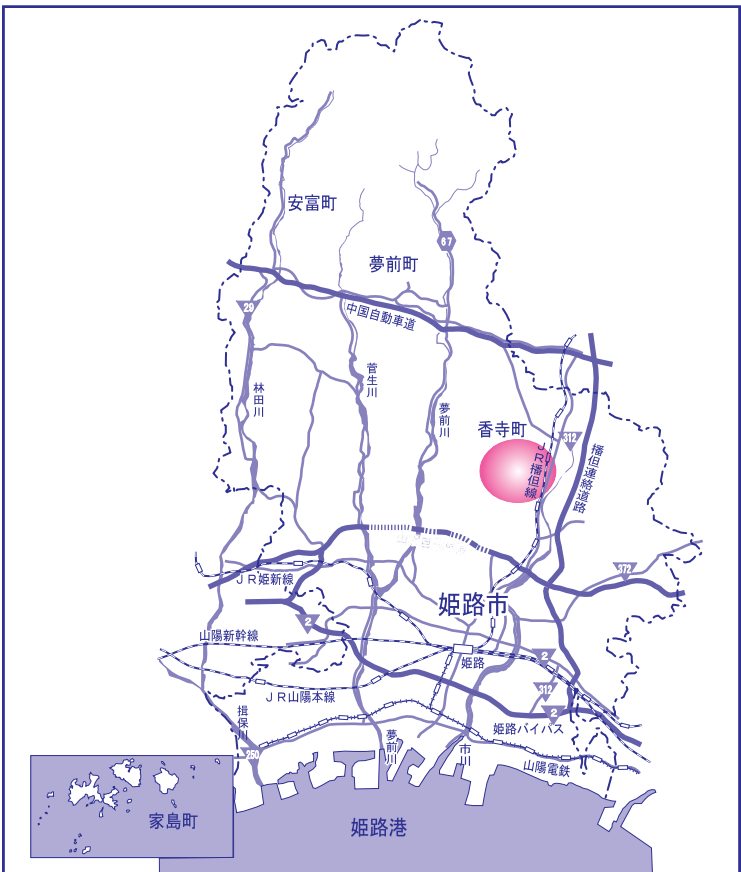




文化財をたずねて
香呂地区めぐり



交通案内
JR播但線香呂駅下車三〇m

コース案内

起点(姫路市香寺事務所)―(一、五〇〇m)―法琳寺―(三三〇m)―高野神社―(六〇〇m)―新五郎の碑―(一、〇五〇m)―大蔵神社―(二、八〇〇m)―八葉寺―(七〇〇m)―相坂隧道―(一、二〇〇m)―毘沙門堂―(九〇〇m)―田川神社―(六〇〇m)―親王塚―(一、四〇〇m)―紙屋敷―(四〇〇m)―常福寺―(四五〇m)―宮の前古墳―(一、五五〇m)―生野街道―(三三〇m)―蓮香翁寿碑―(四五〇m)―神明神社―(一、七〇〇m)―終点(姫路市香寺事務所)
全行程 一六、〇kmです。

表紙説明

香呂地区の中心部を北西から見下ろした航空写真。手前の丘陵地帯から中央部の洪積台地を経て沖積低地へと下り、上部には市川の流れが見える。古代には的部里と呼ばれた地域であり、低地には条里地割が残るので、古くからこの地域には集落が点在していたと思われる。

平成22年2月27日発行 (姫路市教育委員会 発行)
(姫路市文化財保護協会)

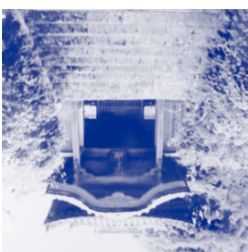
この穴は、推定約1000年前に築かれた香呂の古墳群の1つである。古墳の中心部には、石室が確認された。石室の内部には、土器や埴輪などの出土品が見られた。この古墳は、香呂地区の古墳群の中心部を形成していると考えられている。

穴石室古墳

この穴は、推定約1000年前に築かれた香呂の古墳群の1つである。古墳の中心部には、石室が確認された。石室の内部には、土器や埴輪などの出土品が見られた。この古墳は、香呂地区の古墳群の中心部を形成していると考えられている。

穴石室古墳

この穴は、推定約1000年前に築かれた香呂の古墳群の1つである。古墳の中心部には、石室が確認された。石室の内部には、土器や埴輪などの出土品が見られた。この古墳は、香呂地区の古墳群の中心部を形成していると考えられている。



穴石室

この穴は、推定約1000年前に築かれた香呂の古墳群の1つである。古墳の中心部には、石室が確認された。石室の内部には、土器や埴輪などの出土品が見られた。この古墳は、香呂地区の古墳群の中心部を形成していると考えられている。



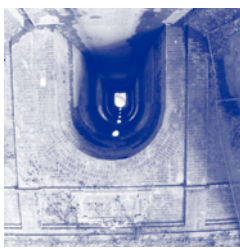
穴石室

この穴は、推定約1000年前に築かれた香呂の古墳群の1つである。古墳の中心部には、石室が確認された。石室の内部には、土器や埴輪などの出土品が見られた。この古墳は、香呂地区の古墳群の中心部を形成していると考えられている。



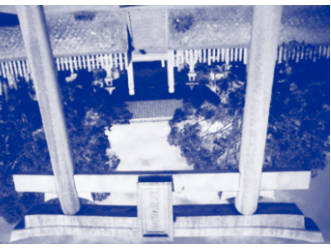
穴石室

この穴は、推定約1000年前に築かれた香呂の古墳群の1つである。古墳の中心部には、石室が確認された。石室の内部には、土器や埴輪などの出土品が見られた。この古墳は、香呂地区の古墳群の中心部を形成していると考えられている。



穴石室

この穴は、推定約1000年前に築かれた香呂の古墳群の1つである。古墳の中心部には、石室が確認された。石室の内部には、土器や埴輪などの出土品が見られた。この古墳は、香呂地区の古墳群の中心部を形成していると考えられている。



穴石室

この穴は、推定約1000年前に築かれた香呂の古墳群の1つである。古墳の中心部には、石室が確認された。石室の内部には、土器や埴輪などの出土品が見られた。この古墳は、香呂地区の古墳群の中心部を形成していると考えられている。



穴石室

この穴は、推定約1000年前に築かれた香呂の古墳群の1つである。古墳の中心部には、石室が確認された。石室の内部には、土器や埴輪などの出土品が見られた。この古墳は、香呂地区の古墳群の中心部を形成していると考えられている。

この穴は、推定約1000年前に築かれた香呂の古墳群の1つである。古墳の中心部には、石室が確認された。石室の内部には、土器や埴輪などの出土品が見られた。この古墳は、香呂地区の古墳群の中心部を形成していると考えられている。

文化財をたずねて 香呂地区めぐり

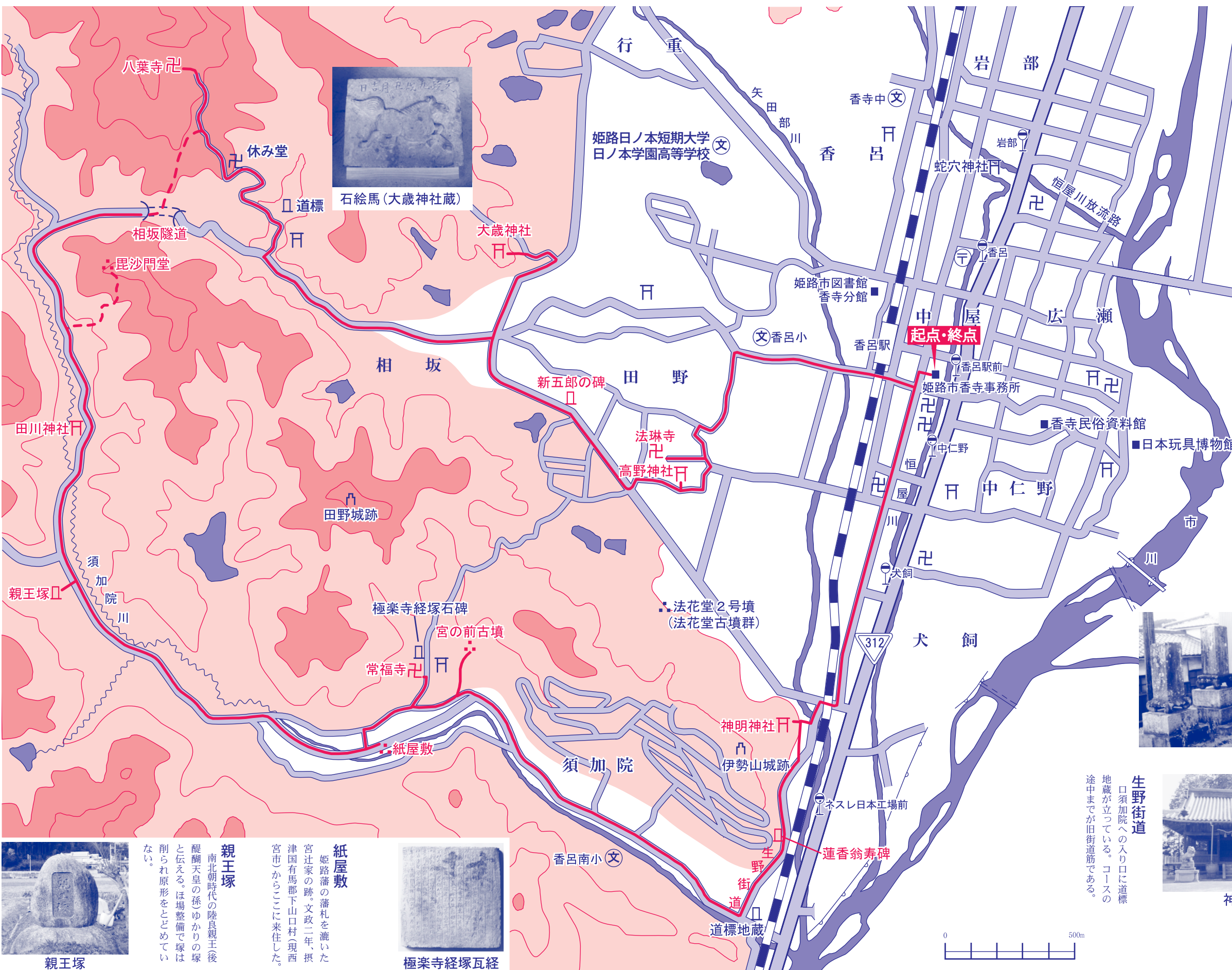


蓮香翁寿碑
蓮香翁は鷲野慧通といい、幕末から明治初年にかけて田野で寺子屋を開いていた。



神明神社

生野街道
口須加院への入り口に道標地蔵が立っている。コースの途中までが旧街道筋である。

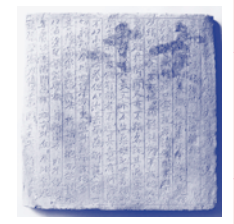


石絵馬 (大歳神社蔵)



親王塚

親王塚
南北朝時代の陸奥親王後醍醐天皇の孫ゆかりの塚と伝える。ほ場整備で塚は削られ原形をとどめていない。



極楽寺経塚瓦経

紙屋敷
姫路藩の藩札を漕いだ宮辻家の跡。文政二年、摂津国有馬郡下山口村(現西宮市)からここに来住した。